

交通バリアフリーニュース



四国における交通バリアフリーの現状(平成20年度)

四国運輸局では、交通事業者等から提出された移動等円滑化実績等報告書をもとに、管内の旅客施設や車両等におけるバリアフリー化の進捗状況を取りまとめました。

現在、四国では、1日当たりの平均的な利用者数が5千人以上の旅客施設については、自治体の基本構想により計画的に整備が進められています。一方、利用者数が5千人未満の駅については、鉄軌道事業者と国や地方自治体との連携等によりバリアフリー化が進んできていますが、全国に比べると十分ではありません。

また、車両等については、乗合バス車両や旅客船のバリアフリー化が進んできていますが、鉄軌道車両については、なかなか進まない状況にあります。

バリアフリー化を推進するために国は、各種補助制度により交通事業者を支援しています。



ことでん花園駅(スロープ点字ブロック)



JR今治駅(エレベーター)



土佐電高知駅前駅(新設)

◎平成20年度中にバリアフリー化が進んだ主な鉄軌道駅、停留場(新設を含む)

- ☆JR……………今治駅(エレベーター、トイレ)
- ☆ことでん……栗林公園駅(スロープ、ブロック、転落防止設備)
花園駅(スロープ、ブロック、転落防止設備)
- ☆伊予鉄……三津駅(スロープ、ブロック、トイレ、転落防止設備)
西堀端(スロープ、ブロック、転落防止設備)
- ☆土佐電……高知駅前(新設)(スロープ、ブロック、転落防止設備)
知寄町1丁目(スロープ、ブロック、転落防止設備)
栈橋車庫前(スロープ、ブロック、転落防止設備)
栈橋通り5丁目(スロープ、ブロック、転落防止設備)

◎平成20年度に補助制度を活用して整備された旅客施設及び車両等

- ★JR今治駅(エレベーター、トイレ)
- ★ノンステップバス 24両
- ★ワンステップバス 5両



ノンステップバス(徳バス)

四国における交通バリアフリー化の進捗状況(平成21年3月31日現在)

鉄軌道駅のバリアフリー化状況

| 事業者名 | 駅名 | 段差への対応 | 視覚障害者誘導用ブロック | 障害者対応型トイレ | 転落防止設備 |
|------------------|---------|--------|--------------|-----------|--------|
| 四国旅客鉄道(株) | 高松駅 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 坂出駅 | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| | 丸亀駅 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 今治駅 | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| | 松山駅 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 徳島駅 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 高松琴平電気鉄道(株) | 高松築港駅 | ○ | × | × | × |
| | 瓦町駅 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 伊予鉄道(株) | 松山市駅 | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| | 大街道電停 | ○ | ○ | — | ○ |
| | 松山市駅前電停 | ○ | ○ | — | ○ |
| 主要駅(12駅)に占める適合駅数 | | 12 | 11 | 9 | 11 |
| 全駅(491駅)に占める適合駅数 | | 99 | 178 | 17 | 214 |

※ 主要駅とは、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の駅で、四国では上表の12駅が該当する。
 ※ 表中の「○」は基準適合、「×」は基準不適合、「—」は便所設備のないことを示す。また、「◎」は平成20年度の改善箇所を示す。

四国における1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設は、左表の鉄軌道駅の12駅であり、そのバリアフリー化の状況は、左表のとおりです。

その他の利用者数が5,000人未満の旅客施設のバリアフリー化状況はそれぞれの表のとおりです。

また、車両等の進捗状況は、下記のグラフのとおりです。

バスターミナルのバリアフリー化状況

| ターミナル総数 | 段差への対応 | 視覚障害者誘導用ブロック | 障害者対応トイレ |
|---------|--------|--------------|----------|
| 3 | 3 | 2 | — |

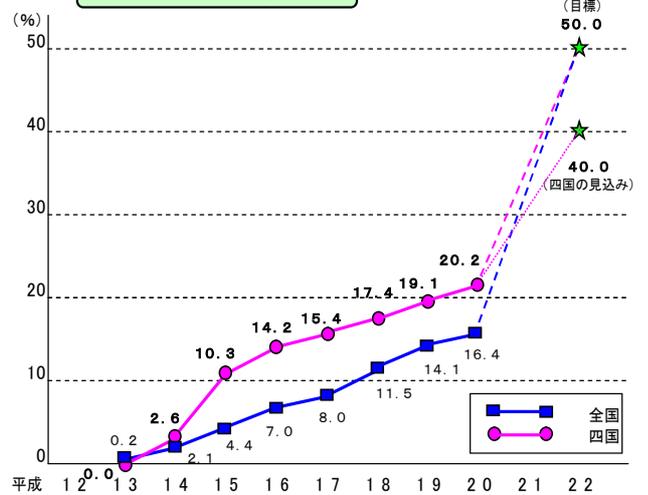
※ 四国のバスターミナルは、1日当たりの平均的な利用者数が1,000人未満の小規模な施設しかない。

旅客船ターミナルのバリアフリー化状況

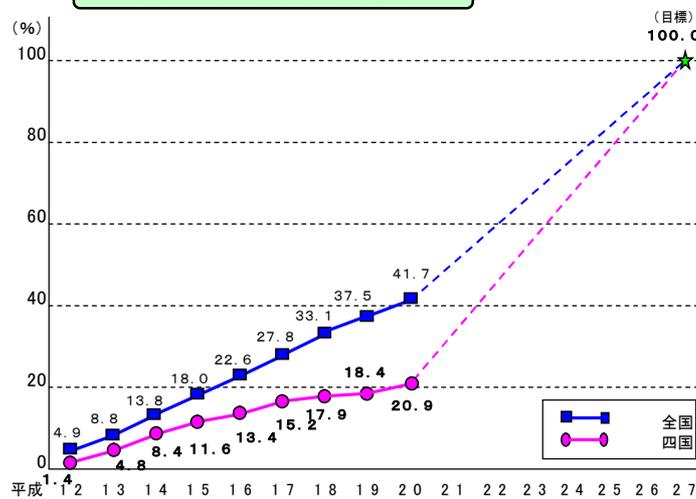
| ターミナル総数 | 段差への対応 | 視覚障害者誘導用ブロック | 障害者対応トイレ |
|---------|--------|--------------|----------|
| 105 | 49 | 11 | 11 |

※ 四国の旅客船ターミナルは、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人未満の中小施設で占められている。

船舶のバリアフリー化の推移

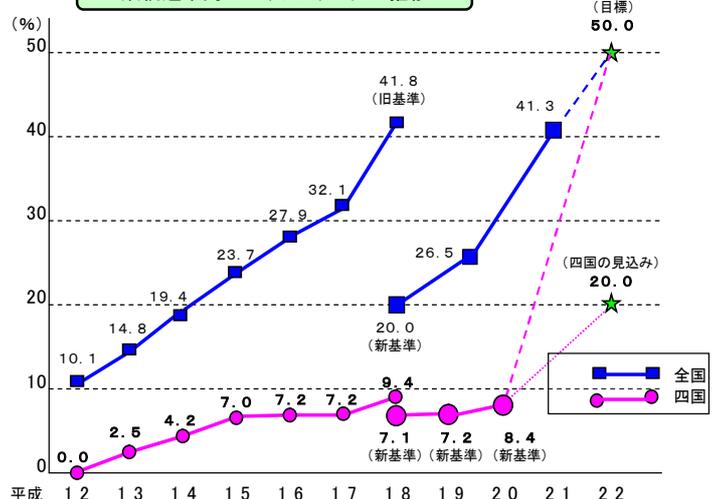


低床バスのバリアフリー化の推移



※ノンステップバスを含む

鉄軌道車両のバリアフリー化の推移



※平成22年の四国の見込みは、四国における交通バリアフリー推進基本方針による。

消費者行政インタビュー

四国運輸局では、消費者からの問い合わせや消費者行政上の課題を調査し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関をはじめとして運輸関係の事業に従事している方を対象にインタビューを行っています。

今回は、昨年度からバリアフリーリーダーをお願いしております財団法人香川県身体障害者協会 長尾 弘副会長、財団法人香川県老人クラブ連合会 藤川 恵一副会長のお二人にお話を伺いました。



(財)香川県身体障害者協会
副会長 長尾 弘さん

○(財)香川県身体障害者協会ではどのようなことをされていますか。

国の規定に基づいた事業があり、それを県から協会が受けて行っています。障害者自立支援法に基づいたスポーツ振興のためのスポーツ大会や福祉大会など、行政がすべきことを協会は代わって行っています。国、県からの助成金と会費で運営しています。

県協会の上部には日本身体障害者連合会、下部には市・郡単位で支部があり、各町に分会を置いています。横のつながりとして中国四国地区協議会があります。

○協会の会員について

身体障害者手帳の交付を受けている18歳以上の方が入会できますが、個人情報保護法の関係で、新しく手帳を所有することになった方がわからなくなりました。昔は行政が教えてくれていましたが、今はそういうことはありません。子どもの組織の拡大が難しくなるというのがありますが、会員になることによるメリット、たとえば様々な支援の情報や改正された法のことなどを知ることができる、利用できるものが早く知ることができます。

また、相手の気持ちを理解し、互助の気持ちが自然とできてきます。したがって手帳所持者で入会されていない方は積極的に入会されるようお勧めします。

○今までのバリアフリー

昭和63年に綾上町役場の庁舎（現在は合併により綾川町綾上支所）ができましたが、当時はバリアフリーという考えがあまりなかったのかもしれませんが、平成5年に綾上在住の目の不自由な方から、支所前の道路から支所横にある農村環境改善センターへ行くのに点字ブロックもないので一人で対応できないからなんとかしてほしいと要望がありました。町に働きかけたところ、町長は議会にかけなければどうしようもないということでしたので、議会にかけてもらったところ随分と議論が紛糾しました。一度は通りませんでした。私が議会で説明もするのでもう一度かけて欲しいとお願いし、再度かけてもらったところようやくやってくれることになりました。道路から支所庁舎、庁舎からセンター前まで点字ブロックを設置すること、玄関口の階段を庭園部分を崩してスロープにすること、目の不自由な人に対する職員の対応が不十分ということで、玄関口に押しボタンを設置することになりました。



○これからのバリアフリー

今まで様々な施設の点検を行ってきました。身障者用駐車場が非常に遠くにあったり、カウンターに車いすが入らず非常に不便なところ、設計の都合上、エレベーターが奥にあるところなど利便性を考えていないものがありました。

こういうことから言えることは、設計の段階から障害者等施設を利用する方の意見を聞いていただくことが重要だと思います。いくら法律上の基準をクリアしていても使い勝手が悪いと使わなくなりますし、使えません。

また、使い勝手が悪いことを利用する側が言わなければ対応してもらえません。会員には積極的に活動するように話していますが、なかなか思うようにはいかないのが現状です。

現在、私は高松サポート地区に建設予定である国の合同庁舎検討委員会にも入っています。これは最初の設計段階から検討しており、これが本当のやり方かと思います。こうすることで非常にいいものができると思います。

インタビュー実施日：H21.10.1（木）聞き手：今西、井上

長尾副会長のご案内で、綾上支所のバリアフリーの状況を確認しました。



支所前道路から庁舎への点字ブロック



庁舎からセンターへの点字ブロック



農村環境改善センター側のスロープ



玄関口に設置されたスロープ



玄関口に設置された押しボタン

消費者行政インタビュー

○(財)香川県老人クラブ連合会ではどのようなことをされていますか。

香川県老人クラブ連合会は8市3郡の連合会で、会員は9万人います。

県老連の事業は、全国老人クラブの三大目標である健康、友愛、奉仕と21世紀プランという15程度のレクリエーション、学習活動を目指し

1. 健康づくり介護予防活動として、介護予防サポーターの養成講座、ニュースポーツ（ペタンク、グランドゴルフ）大会をしています。
2. 高齢者地域支え合い事業として、在宅福祉を支える友愛訪問をしています。
3. 組織活動の強化に向けて、老人クラブリーダーの育成のため、研修会をしています。
4. 香川県老人クラブ大会を開催して、功労者の表彰や市、郡の活動、主張発表をしています。

老人クラブの活動は市、町の地区にある単位クラブ（30～100人）が基本ですが、行事に制限がありますので、町が主体となっています。私のところの三木町老人クラブ連合会は22の単位クラブから成り立っており、会員は約1300人です。仏教会と合同で花祭りをしたり、高齢者スポーツ大会、旅行などと年間10回、交通安全、健康、郷土の歴史、時事問題、演芸大会という内容で老人大学をしています（出席者600人位）。

また、教育委員主催の高齢者学級が地区ごとに年間8回開かれています。

女性委員会も指導者を招いて、月1回体操をしたり、年3回（5月、10月、11月）に寿司やおはぎなどを作って、寝たきりの方などを訪問しています。

○会員になるには？

老人クラブへの入会は、60歳以上でその地区に住んでいることが条件です。会費は500円から2000円で地区により違います。

加入率は低く30パーセントくらいです。地区によってまちまちで、70、80パーセントのところもあります。

以前は60歳になったら入ってくれていましたが、今は60歳だとまだ若く、また、三木町では農家の方が多いため、農作業をしている人が多いですし、多くは兼業農家なので65歳くらいまでは勤めたりされています。このため、70歳前になったら入ってくれています。

○バスとマイカーとバリアフリーについて

実際のところ、病院などに行く場合、ほとんどの方が家の人に送り迎えしてもらっています。最近のバスには車いすが乗れる装置などあるようですが、一般の人はそのことを知りません。



(財)香川県老人クラブ連合会
副会長 藤川 恵一さん

| 香川県老連 | 平成21年5月末現在 |
|---------------------------|------------|
| 高松市老連 | |
| 丸亀市老連 | |
| 坂出市老連 | |
| 善通寺市老連 | |
| 観音寺市老連 | |
| さぬき市老連 | |
| 東かがわ市老連 | |
| 三豊市老連 | |
| 小豆郡老連 (小豆島町・土庄町) | |
| 中部三郡老連 (三木町・直島町・綾川町・宇多津町) | |
| 仲多度郡老連 (まんのう町・琴平町・多度津町) | |

コミュニティバスのバス停を去年の4月に変えました。病院やショッピングセンターなどをバス停にしたのですが、問題は間隔があいているので、行きはいいですが、帰りは待たなければいけないことがあります。

コミュニティバスは採算が取れていませんが、故障が多いので新車を買うことにしたようです。三木町全体を走っていて、北から南まで5里(約20km)くらいあり、戻ってくるまでにかなり時間がかかってしまいます。買い物をしたら30~40分で終わってしまいますから、1時間間隔くらいなら乗るかも知れません。

現在、マイカーを複数台保有している家庭も多くあります。家に車があって誰かが送り迎えしてくれるので、それに慣れてしまっているようです。

高齢者は自転車も乗らない、歩くのも面倒なので、乗り場まで数百メートルの距離があると、そこへ出て行くのがいやだと言います。また、バス停を近くに作ってくれという要望はよくあります。バス停までの距離が200メートルもあると乗りません。昔はその方たちも200、300メートルは歩いていたものですが、今は歩きません。そのため、老人大学でも社協のバスで送り迎えをしています。

私の若い頃は高齢者は2キロくらい歩いていました。今は自転車に乗る人も減りました。高齢者が自転車に乗るのも危ないというのもあります。

○老人クラブの方からバリアフリーについての意見や要望はありますか？

地元の社協がきめ細かく業務をやってくれていますので、私は意見や要望はあまり聞いたことがありませんが、社協や地域包括センターにはあるかもしれません。

先ほども申し上げましたが、一般の人は、バスに車いすで乗れることを知りません。また、送り迎えをする人から言うと、家からバス停まで車で送って行くだけより、付き添いのことを考えるとそのまま車で目的地まで行った方がいいという方が多いと思います。

○あまりバスには乗りたくない？

以前、あるバスの会合で、医大へ乗合バスの乗り入れを提案したところ、沿線の自治体の人から乗る人がいないと反対を受けましたが、その後に沿線の住民を対象としたアンケートを実施したところ、乗りたいと言う人が多かったことがありました。その結果を受けて、医大に乗合バスが試験的に乗り入れることになりました。

高齢者は、家の人は勤めに出たりしていることもあるので、本当は送り迎えを頼まず、自分で移動したいという気持ちがあると思います。

○バリアフリー教室は小学生対象での開催が多いですが、バスの乗り方を併せた教室を老人クラブ会員対象で開催しませんか。

老人大学で年1回高松東署の方が交通安全ということで来てくれています。町のほうでも自転車の交通安全教室をやっています。私もそういうイベントに出ていますので、そのときに今回の話をしてみますので、希望者がいれば是非開催してほしいと思います。

(インタビュー実施日：平成21年10月6日(火) 聞き手：今西、井上)

バリアフリー教室、バスの乗り方教室とあわせて開催 ～香川県さぬき市津田町～

さぬき市立津田小学校

10月2日(金)、津田小学校(香川県さぬき市津田町)において、「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には同小学校5年生39名が参加。大川自動車(株)の協力で、校内に低床バス車両を持ち込み、整理券の取り方から運賃表の見方など、バスの乗り方について勉強しました。

また、バリアフリーに対応した低床バス車両の特徴を学習したり、低床バスに乗降する車いす利用者の介助の仕方を間近で見学しました。



講師がバスについてわかりやすく説明



車いすに乗車したままバスに乗降

障害者生活支援センターましみずの蓮澤講師や山下一三さんから視覚障害者の介助方法を、安部徹さんからは車いす利用者の介助方法を学びました。

参加した児童は、講師の話の聞いたり、実際に介助体験をすることによって、相手を思いやり、相手の立場にたって行動することの大切さを学びました。



アイマスクを着用した友達を介助しながらバスの乗降



コースに設定された段差を車いすで慎重に通過

交通事業者従業員対象バリアフリー教室開催

～高知県安芸市～

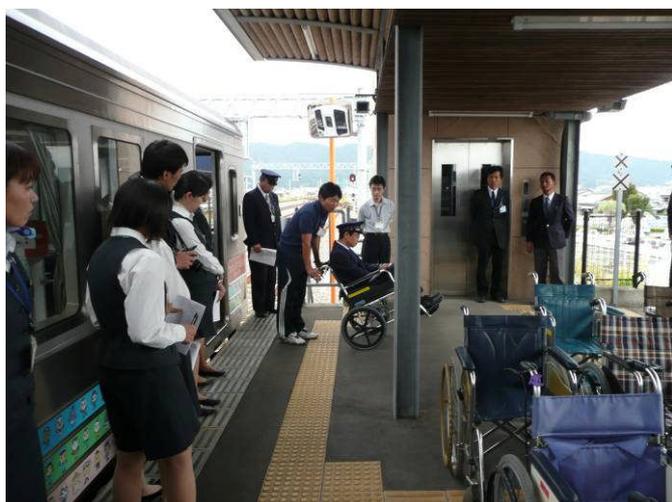
土佐くろしお鉄道安芸駅

10月20日(火)、土佐くろしお鉄道安芸駅(高知県安芸市)において、「バリアフリー教室」を開催しました。

教室には同事業者従業員から乗務員等職員24名が参加。(社)安芸市社会福祉協議会の指導のもと、鉄道車両や駅施設を使用して、車いす利用者の介助体験、アイマスクを着用しての視覚障害者介助体験を実施しました。

意見交換会では、受講生が日頃感じたり、今回の体験で生じた様々な質問が出され、ひとつひとつ丁寧に回答する講師の説明を受講生は熱心に聞いていました。

参加者は、障害者や高齢者の立場を実際に体験したことによって、接遇・介助の必要性をあらためて認識していました。また、接遇・介助方法を再確認し、さらなる「心のバリアフリー」の推進と安全で快適な公共交通機関の提供に向け、誓いを新たにしました。



講師から車いすの介助方法の説明を受ける



鉄道車両を使って車いす利用者の介助を体験



ホームへの階段を使って視覚障害者介助体験



意見交換会

バリアフリー教室について



四国運輸局が開催していますバリアフリー教室、バスの乗り方教室は、自治体、各地の社会福祉協議会、講師としてご参加いただく障害者の方、公共交通事業者等多数の方から後援、ご協力をいただいております。今回開催しました教室では次のとおりです。

平成21年10月2日開催バリアフリー教室・バスの乗り方教室（さぬき市立津田小学校）

後援：香川県、さぬき市、さぬき市教育委員会

協力：安部 徹氏、山下 一三氏

障害者生活支援センターましみず、大川自動車株式会社



平成21年10月20日開催バリアフリー教室（土佐くろしお鉄道）

後援：高知県

協力：（社）安芸市社会福祉協議会、土佐くろしお鉄道株式会社

ご協力ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。



〒760-0064

香川県高松市朝日新町1-30

電話：087(825)1174

FAX：087(822)3412

Email：Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心に、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。

四国運輸局ホームページもご覧ください

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/>